

6/30(月) 19:10 配信 1

日本サーフィン連盟と千葉県は30日、同県船橋市立薬円台南小学校で同校の児童を対象にしたサーフィン体験会を実施した。これまでは太平洋に面した外房地域の小学校を中心に開いてきたが、今回から対象地域を広げ、船橋市では初開催。

■「スタンディング」も

■「水の上から見る景色」に感動

体験会に参加した安藤春馬さんは「腕でこいで水の上を速く進めるのが楽しかった。周りの人にも伝えたい。友達と海に行くので、サーフィンを始めるかもしれない」とすっかり魅力に取りつかれた様子。米納小夏さんは「初めてだったので足が**ガクガク**したが、水の上から見る景色がよかった。見ている人もみんな笑顔で楽しかった」と話した。

同連盟と県は2020年東京五輪の競技にサーフィングが正式採用されることを契機に、平成30年に競技普及を目的とした協定を締結。県内の小学校で体験会を開いてきた。今年度は5市町の小学校10校で実施予定。

■「すごい盛り上がり」

今回インストラクターとして子供たちを指導した同連盟千葉西支部長の時田史人さんは「すごい盛り上がりで大成功だった」とした上で、子供たちのパドルिंगの上達の早さに驚いた様子で「水中を歩いていたインストラクターが置いていかれるほどだった」と話した。また外房地域以外での体験会開催に「海が身近でない子供たちにもサーフィンというものを知ってもらうことができた」と意義を強調し、「来年はまた違う地域の小学校でも実施できたらいい」と普及活動に手応えを感じていた。